

目 次

第 1 法人の概況	
1. 主要な経営指標等の推移	P4
2. 事業の内容	P4
3. 従業員の状況	P6
第 2 事業の状況	
1. 全般	P7
2. セグメント別事業状況	P9
第 3 法人の状況	
1. 会費の状況	P33
2. コンプライアンス及びアカウンタビリティ	P33
3. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う勤務状況について	P33
4. 他団体への加盟状況	P33
第 4 2019 年度 理事会等開催報告	P35

第1 法人の概況

1. 主要な経営指標等の推移

期	第12期 (当期より合併)	第13期	第14期	第15期	第16期
決算年月	2016年7月	2017年7月	2018年7月	2019年7月	2020年7月
経常収入(千円)	57,760	61,007	68,472	67,142	64,002
当期正味財産増加額 (千円)	207	110	746	723	1,008
当期正味財産合計 (千円)	1,136	1,246	1,992	2,715	3,724
資産の部合計 (千円)	16,699	14,332	19,236	19,506	20,544

※NPO 法人の会計上の表現について:通常の企業における売上高を「経常収入」、
当期純利益を「当期正味財産増加額」、純資産額を「当期正味財産合計」、
総資産額を「資産の部合計」と表記しています。

2. 事業の内容

NPO 法人調布市地域情報化コンソーシアム(以下、当法人)は、「必要な人が必要な情報を簡単に得られたり、必要な人に分かりやすく伝える環境を整備することで、人にやさしい地域社会の実現に貢献する」をミッションとし、「地域情報収集・伝達媒体」の構築・維持・管理・活用および調査研究・地域情報化促進事業が主たる業務です。

当法人の事業内容及び主要なサービスは次のとおりです。

なお、下記事業区分は報告セグメントと同一の区分です。

事業区分	主要な取引先	主要なサービス
「地域情報収集・伝達媒体」の構築・維持・管理・活用に関する事業	■行政関係、市民団体関係セクター	
	調布市生活文化スポーツ部 文化生涯学習課	1 『調布市生涯学習情報コーナー』 ホームページ
	調布市生活文化スポーツ部 協働推進課	2 「調布市市民活動支援センター」 ホームページ
		3 ちょうふ地域コミュニティサイト 『ちょみっと』
	調布市生活文化スポーツ部	4 「調布市男女共同参画推進センター」

男女共同参画推進課	ホームページ
調布市行政経営部広報課	5 調布市公式ホームページ運営補助
(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団	6 「調布市せんがわ劇場」ホームページ
調布市環境部環境政策課	7 工場・指定作業場台帳システム
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会	8 同左イベントシステム
	9 「調布市福祉人材育成センター」ホームページ
	10「調布市こころの健康支援センター」ホームページ
調布市教育委員会教育部 調布市立図書館	11「まちの資料情報館」システム維持管理
調布市文化協会	12 同左ホームページ
調布市社会福祉事業団	13 同左ホームページ
東京都三多摩公立 博物館協議会	14 同左ホームページ維持更新管理
■自主事業、産業・民間関係セクター	
自主事業	1:調布市地域情報ホームページ「ちょうふどとこむ」の運営
自主事業	2:調布のニュースホームページ 「調布経済新聞」の運営
その他産業・民間関係セクター	3:その他産業・民間関係セクター ・調布市商工会ホームページ連携 ・ちょうふ子育て応援サイト「コサイト」ホームページ運営支援 ・調布市観光協会イベントシステム維持更新管理 ・調布市勤労者互助会ホームページ維持更新管理 ・公益社団法人武蔵府中青色申告会ホームページ維持更新管理 ・調布市青少年ステーション CAPS 入館管理システム ・東京都立産業技術研究センター デジタルサイネージを活用した行動変容 実証実験

		・その他、市民団体・民間事業者の独自ホームページ維持更新管理
「地域情報収集・伝達媒体」の活用に関する調査、その他情報収集の事業	関係諸機関	地域情報化に関する市内外の会議や講座への参加や関係する団体での活動
「地域情報収集・伝達媒体」を基盤とした地域情報化促進事業	調布市総務部情報管理課	地域情報化推進支援業務

3. 従業員の状況

当法人は取材・営業担当 1 名、WEB デザイン・製作担当 1 名、プログラマー 1 名、事務総務兼取材担当 1 名の正社員 4 名及び、WEB デザイン・製作担当 1 名、経理担当 1 名のパート 2 名、計 6 名の従業員と公益事業（行政関係、市民団体関係）を担当する業務委託契約者 1 名、常勤役員 1 名で運営しています。

その他、サーバー及びシステムエンジニア 1 名に週 3～4 日で当事務所に勤務いただいています。

第 2 事業の状況

1. 全般

当法人は第 12 期(2016 年度)に実施した「NPO 法人ちょうふどっとこむ」との合併以降、「必要な人が必要な情報を簡単に得られたり、必要な人に分かりやすく伝える環境を整備することで、人にやさしい地域社会の実現に貢献する」というミッションと「地域社会に貢献するため、一人ひとりの人を大切に、地域にあっては公平、公正な立場で、その成果を共有することができる公益事業を遂行する団体を目指す」という経営方針に基づき「業務管理」と「人材育成」について継続的に取り組んできました。

また、2017 年度に整理した以下の「当法人の強みと対象」を引き続き念頭におき、事業を進めてきました。

・当法人の強みと対象

『情報発信をしたい、又その必要性を感じているが、情報発信に関する知識を必要としている人・団体』に、

『「市民、市民団体と築いてきた顔の見える関係」と「情報発信の企画、手段、具体的技術力の提供が可能」、「地域に根ざした信頼感をもとにお客様の望む情報の網羅性の提供や迅速な対応体制」』という強みを活かし、

『当法人の能力を使い、広く情報を伝えたい（集客をしたい）』というニーズを一人でも多くの対象顧客に満たしてもらうため、『人海戦術・技術的戦術を使いながら、お客様とのつながりを常に深めるとともに、情報を集める仕組みをつくる』

受託事業については、「ちょうふ地域コミュニティサイト『ちょみっと』」のシステムリニューアルに向け協議を進める中で新型コロナウイルスの影響でアクセス数が低下したため、よりスピーディーな対応が求められました。昨年末からの定例 MTG においてオンライン・オフラインでの会議を進めた結果、今回の担当者変更を含め、委託者のニーズに応えたりリニューアルの体制を構築することになりました。市民向け IT 講座の実施については年明けまでは好評のうちに実施されましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。市内イベントでの PR 活動に市内の NPO 法人「ちょうふこどもネット」が協力することについては継続していますが、イベントが減少しているため、作業量も減っています。調布市社会福祉協議会からの IT 研修会講師の依頼や、受託している調布市広報課の調布市公式ホームページ運営補助でも庁内研修の講師として、同法人から派遣されているスタッフが認められ、実績を残し、継続しています。

自主事業については、「ちょうふどっとこむ」ホームページ等が稼働している「民間系サーバー」のアップデートに加え、スマートフォンでの更新もできるようになることを見据えた「ちょうふどっとこむ」の大幅リニューアル(継続中)、並びに、新しい契約プランの検討を進めました。また、コロナ感染拡大防止のための自粛をうけ、調布青年会議所からの依頼により、市内テイクアウト店を紹介する「調布我が家のおすすめテイクアウト」サイトを開設、その後同サイトは市との共催になり、市が発行する「調布っ子応援プロジェクト商品券」が使えるお店を紹介する公式サイトに発展しました。また、「ちょうふどっとこむ」と連動させた形で「調布市スーパープレミアム付商品券」の取扱店を募集、インターネットから登録する事業を受託、開始しました。調布経済新聞ではアクセス数が大幅に増加した昨年度をさらに上回るの結果が出ました。その他、調布駅前商店会においては事務担当として関わり、「東京都商店街新型コロナウイルス感染症緊急対策奨励金」の申請事務などを行いました。

市民・事業者・教育機関等が今後の地域情報化について自由に議論し、情報提供、意見交換を行う「議論の場」としての「調布地域情報化推進協議会」の運営にも引き続き事務局として関わりました。一般市民も加えた月例の会議で協議を重ねた結果、1月には、全国広報コンクールで日本一となる内閣総理大臣賞を受賞し、当時埼玉県三芳町広報課の職員の佐久間智之さんをお招きし、広報に関する講演会を実施しました。

一昨年度決定した、当団体の社会的な役割を検討する場として、理事会とは別に設立した「運営委員会」については、昨年に続き、ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」のセキュリティ強化のためのリニューアル作業を優先させたため、今年度も主だった活動はできませんでした。ただ、その作業過程において、理事・スタッフのコミュニケーションがかなり充実し「運営委員会」の開催以上の機能をもたらしたと考えています。

よって、今年度は、スタッフとのコミュニケーションを一層図っていくことに重点を置き、「運営委員会」は休止することにしました。

2. セグメント別事業状況

(1)「地域情報収集・伝達媒体」の構築・維持・管理・活用に関する事業

I:行政関係、市民団体関係セクター

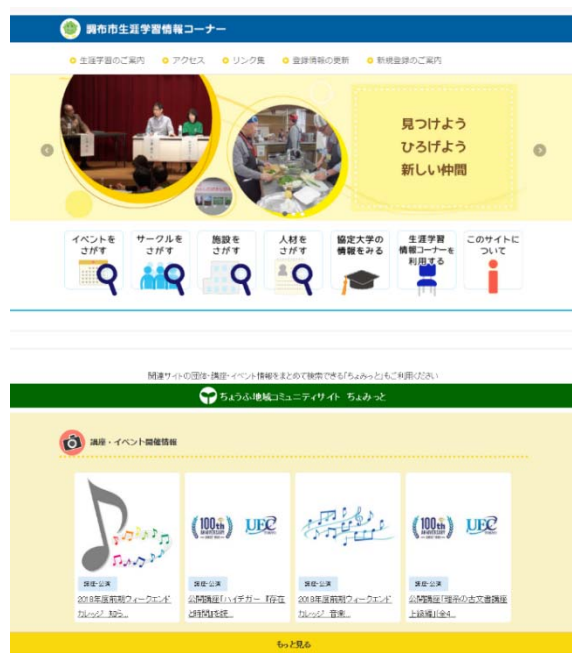
1 『調布市生涯学習情報コーナー』

●システムの概要

調布市の生涯学習に関する情報を広く市民に向けて発信する調布市独自のシステムとして、公的施設、機関、団体を登録・発信することを可能にしています。昨年度、主要機能を「ちょうふ地域コミュニティサイト『ちょみっと』」(以降「ちょみっと」)に移管し、生涯学習サークルと生涯学習関連イベント、人材情報、施設情報を発信しています。

【主な提供情報】

- ・団体情報
⇒市民のサークルやボランティア等の団体
- ・催し物情報
⇒イベント・講座・講演会・鑑賞会等
- ・人材情報⇒講演会等の講師や団体での指導者等
- ・施設情報⇒普段の活動で利用できる施設等



2 「調布市市民活動支援センター」ホームページ

「調布市市民活動支援センター」ホームページは、「市民参画による住みつづけたいまちづくり」「未来への希望が持てる社会の実現」を目指して、様々な分野の市民活動を支援し、協働のプラットフォーム整備を進めることを目的として、2005年に設置されました。

「ちょみっと」と情報を共有し、さらに活動情報を登録した団体が自ら情報更新・発信をすることも可能にしているため、市内で活動する団体の活性化に貢献するべく取り組んでいます。

【主な提供情報】

- ・団体情報 ⇒NPO やボランティア等の団体
- ・催し物情報 ⇒イベント・講座・講演会・鑑賞会等
- ・施設情報 ⇒活動で利用できる施設等



3 ちょうふ地域コミュニティサイト『ちょみっと』

多様化する市民活動やライフスタイルに合わせ、より分かりやすく・より直感的に・そしてより多くの方に活用していただけることを目的として「必要な人が必要な情報を簡単に得られたり、必要な人に分かりやすく伝える環境を整備することで、人にやさしい地域社会の実現に貢献する」ミッションに沿ってリニューアルを行い「ちょみっと」として2017年5月から運営しています。

公開後、アクセス数が伸び悩む中、市民向けのIT講座や市内イベントでのPR事業などを通してより多くの市民の方に使っていただけるように取り組んだ結果、さらに安定して使いやすいシステムに大規模リニューアルを行うことに決定し、準備を進めています。



4 「調布市男女共同参画推進センター」ホームページ

「調布市男女共同参画推進センター」ホームページは、男女共同参画推進プラン推進、配偶者暴力防止のための施策、団体活動支援、男女共同参画を推進するための講演会や講座、相談事業の情報発信、広報紙のダウンロードでの配布を行っています。

「ちょみっと」とも情報を共有しています。今年度は「市民参加事業フォーラムしえいくはんず」の情報を随時更新しつつ、日本社会の課題といわれる女性の社会参画、性別における格差の解消を指して、リニューアル提案などを行った結果、2020年9月末公開を目標としてリニューアル作業を進めています。



【主な提供情報】

- ・講座・講演会最新情報 ⇒ イベント・講座・講演会等
- ・相談事業情報 ⇒ 各種相談の予約状況をリアルタイム更新

5 調布市公式ホームページ運営補助

調布市公式ホームページ運営補助業務では、調布市行政経営部広報課に月曜から金曜日の 9 時～17 時まで当法人と協力協定を結んだ市内 NPO 法人の職員が常駐し、調布市公式ホームページの掲載内容の承認作業のほか、ホームページ運営の補助業務を行っています。

「ちょみっと」連携も常時意識し、より効果的な情報発信について、情報共有と改善を行っています。

業務品質の安定や向上が、担当者を 2 人から 3 人による交代制で業務を行うことにより向上し、庁内研修の講師なども任せて頂くことになりました。担当者の増加と業務の範囲拡大に伴い、週に 1 回のスタッフの情報共有ミーティングを行い、円滑なコミュニケーションによる業務の遂行と担当者の負担軽減を図りました。



6 「調布市せんがわ劇場」ホームページ

「調布市せんがわ劇場」のホームページでは、舞台芸術活動を「支援」する機能と市民が舞台芸術を「学ぶ」機能、そして、施設の運営に市民が「参画」する機能を備え、「舞台芸術を楽しむ市民」を育成し、支援することを目的に公演情報やイベント情報、自主事業である市民サポーターの活動などの情報を発信しています。

今年度は、運営が調布市から調布市文化・コミュニティ振興財団に変更することと合わせ、サイトのスマートフォン対応のリニューアルを行い、担当職員へのフォローを中心として事業を行いました。

【主な提供情報】

- ・公演情報
 - ⇒せんがわ劇場で開催される公演
- ・イベント情報
 - ⇒劇場を会場として行われるイベント等



7 調布市環境政策課「工場・指定作業場台帳システム」

調布市環境政策課「工場・指定作業場台帳システム」では、今まで紙台帳で管理していた市内の工場やガソリンスタンドなどの指定作業場の情報をオンラインで管理することにより、検索機能や地図情報を活用したデータ管理を行えるようになっています。

今年度は来年度以降の機能改善に向けた協議と提案を行いました。

【主な提供情報】

- ・工場情報・指定作業場情報・特定施設情報
⇒紙台帳の項目に合わせた管理と新規登録

8 「調布市社会福祉協議会」イベントシステム

調布市社会福祉協議会のホームページ内に設置されたイベントシステムでは、調布市社会福祉協議会の主催する事業や講座、施設でのイベントが調布市の地域情報サイトである「ちょうふどっとこむ」と連携して表示されるようになっています。

また、「ちょみっと」と情報を共有化することも可能になっています。法人全体の情報発信強化を意図した、調布市社会福祉協議会内の組織に向けたイベントシステム、インターネットでの情報発信強化の提案を行った結果、リニューアルに当法人として関わることとなりました。

【主な提供情報】

- ・イベント情報⇒調布市社会福祉協議会の主催する事業や講座

9 「調布市福祉人材育成センター」 ホームページ

調布市福祉人材育成センターは地域に密着して福祉人材の確保と質の向上を図るため、専門資格を取得するための研修や専門性を向上する研修、階層別研修等を実施する施設です。

市民の中に福祉に関する理解を深め、多様な主体による福祉サービスへの参画や幅広い地域福祉人材を育成するための情報発信のサイトを作成いたしました。

今年度は「ちょみっと」と情報連携し、発信力強化に努めました。

【主な提供情報】

・イベント情報

⇒調布市福祉人材育成センターの開催事業や講座



10 「調布市こころの健康支援センター」 ホームページ

調布市こころの健康支援センターはこころの病、精神障がい・発達障がいのある方の自立と社会参加および市民のこころの健康づくりを支援する施設です。こころの病のある方の生活リズムの改善や社会生活の充実など、医療と連携しながら、一人ひとりのペースに合わせた社会参加を支援するほか、幅広い地域資源や関係機関と連携し、精神保健福祉に関する調布市独自のネットワークを結び、精神保健福祉に対するわかりやすい情報提供を行うための情報発信のサイトとして 今年度は「ちょみっと」と情報連携し、発信力強化に努めるほか、利用者向け IT 講座が 2 年目となり情報連携に取り組んでいます。また同センター主催講演会の ZOOM 録画による YOUTUBE 配信も行いました。

【主な提供情報】

・イベント情報

⇒調布市こころの健康支援センターの開催講座



11 調布市立図書館「まちの資料情報館」システム維持管理

調布市立図書館「まちの資料情報館」ホームページでは、市民の手による「まちの資料情報館 協力者会」に協力し、情報発信の補助を行っているほか、市民が随時更新できるシステムを提供しています。ホームページでは調布ゆかりの文豪や深大寺そばなどの情報を発信しています。

各情報は図書館の蔵書検索とリンクしており、興味を持った図書資料を検索し、予約することもできます。



【主な提供情報】

- ・市内の地域資料情報及び図書館資料とのリンク
⇒調布の文学スポットなど

12 「調布市文化協会」ホームページ

「調布市文化協会」では調布市の芸術・文化を振興し、広く市民の文化生活の向上に資するとともに加盟団体の発展向上と、相互の連絡協調を図ることを目的として市内の文化活動団体を紹介しています。ホームページでは各団体が情報更新をでき、同種の活動を行う協会単位でも情報発信できるようにしています。

昨年度、ちょみっととの連携の重要性をアピールするとともに、ホームページでの情報発信の重要性を理解していただくことに努めた結果、協会内の団体情報の更新が活発化いたしました。



【主な提供情報】

- ・イベント情報
⇒調布市文化協会の主催する事業や講座

13 「調布市社会福祉事業団」ホームページ

調布市社会福祉事業団のホームページは年間約 40 万のページビューがあり、市内の福祉 27 事業の情報発信を行っています。

調布市が設置する社会福祉施設を受託経営し、公的責任を保ちつつ民間経営の長所を生かし効率的かつ効果的な運営を行い、広く市民の多様化する福祉サービスのニーズに応えられるよう、ホームページでは各施設の紹介を個別に行うほか、TOP ページではまとめた新着情報の表示を行っています。

今年度はサイトのセキュリティ診断の相談に応じたほか、職員向けの IT 活用の講座も受託し、実施いたしました。また、メールサーバーの移管も行いました。

【主な提供情報】

- ・9 施設の基本情報発信およびニュースでの最新情報



14 「東京都三多摩公立博物館協議会」ホームページ

多摩地域の公立博物館による団体として、各公立博物館の情報をまとめて発信するポータルサイトとなっています。現在、東は調布市、西は奥多摩町、檜原村までの範囲の公立博物館の企画展や「イチオシ」と名付けた各館の特徴ある展示物についてピックアップした情報発信を行っています。2020 年 5 月からは調布市郷土博物館が館長館となり、従来よりもコミュニケーションが円滑になったことからリニューアル提案を行いました。

【主な提供情報】

- ・展示・イベント情報 ⇒ 展示・イベント・講座・講演会等
- ・館のイチオシ ⇒ 各館でピックアップした展示物
- ・発行物リスト ⇒ 各館で発行している印刷物のリスト



II: 自主事業、産業・民間関係セクター

1 調布市地域情報ホームページ 「ちょうふどっとこむ」

●ホームページ概要

2002年7月開設。2020年7月現在、約4,800件の事業者・施設情報を掲載（うち有料契約150件）。また、調布市の「ちょうふみつ」とも連動し、調布市が提供するイベント情報に加え、民間主催のイベント情報なども合わせて紹介。2019年度年間401万ページビュー（月平均34.5万ページビュー）。



●事業環境と運営状況

- ・コロナ禍におけるアクセス数や契約状況等

新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛が要請される中、市内事業者のコロナ対策や独自の取り組みなどを紹介する「負けるな調布！」コンテンツを3月から展開しました。

また、契約店にはメールや電話でのフォローなどを行った結果、契約店数は昨年度とほぼ変わらない状況を維持しました。

- ・特設サイト

「ちょうふどっとこむ」の強みの1つである特設サイトについては、今期、新サイトを2つ加え、現在、17のサイトと情報連携しています。

- 1: 調布市受動喫煙ゼロの店サイト
- 2: 調布子育て応援サイト・コサイト
- 3: 調布市商工会サイト
- 4: 調布市観光協会サイト
- 5: 調布 Wi-Fi サイト
- 6: 深大寺 Wi-Fi サイト



- 7:イオンシネマシアタス調布
半券サービスサイト
- 8:調布市スクラッチ事業サイト
- 9:仙川商店街サイト
- 10:柴崎駅北口商店会サイト
- 11:国領商盛会サイト
- 12:上布田商栄会サイト
- 13:天神通り商店会サイト
- 14:調布銀座商栄会協同組合サイト
- 15:深大寺そば組合サイト

2019 年度新規追加サイト

- 16:調布のお土産 2019
- 17:調布我が家のおすすめテイクアウト
(調布っ子応援プロジェクト商品券
利用可能店も紹介)

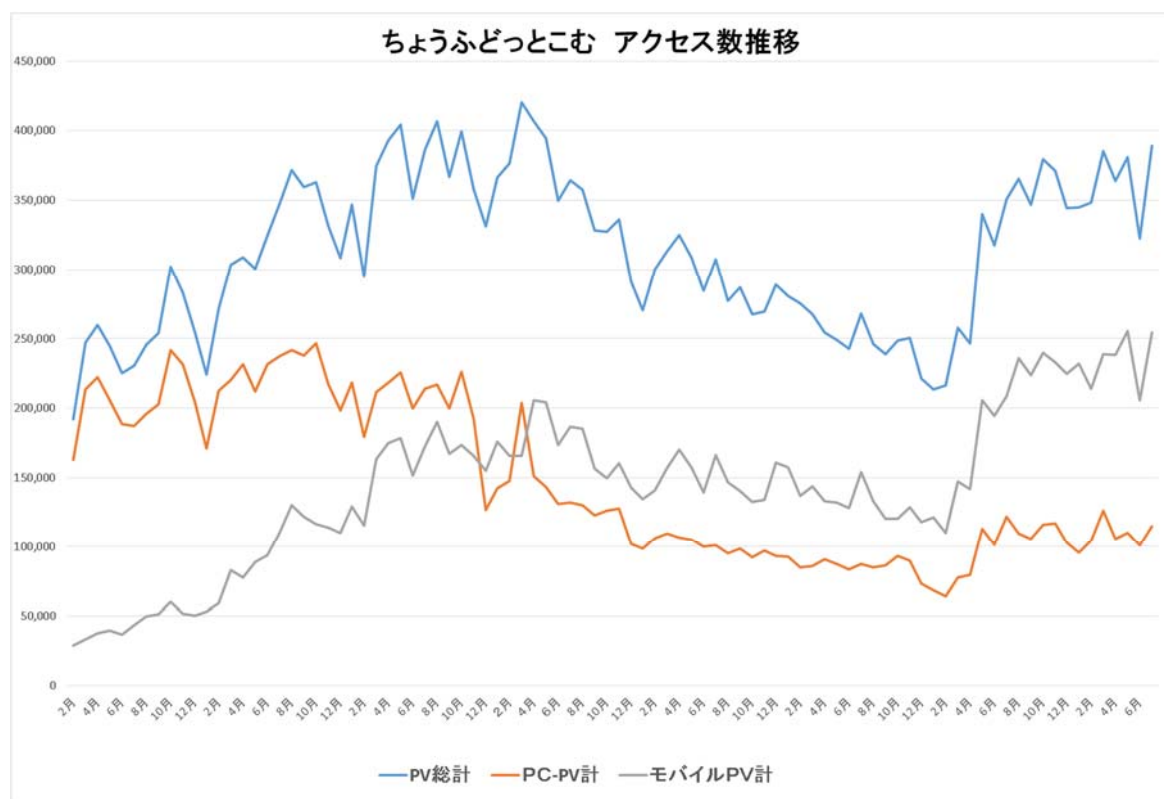
※調布のお土産サイトでは、2018 年に
商工会が市民公募したお土産から委員会
で 40 個を選別。それぞれ取材し、掲載。

※テイクアウトサイトでは上記お土産サイト
の仕組みを流用して突貫で構築。
約 280 のテイクアウト料理及び 210 店
以上の商品券取扱店を掲載。
100 以上の料理を独自取材で掲載しま
した。



インスタグラム(フォロワー数:670)も開始し、公開から 7 月末までに約 70 万
ページビューを獲得しています。

■ ちょうふどっとこむアクセス数推移



2 調布経済新聞

●ホームページ概要

2009年10月開設。調布市を中心に、イベントや新店舗情報などを、平日毎日インターネットで配信。同新聞は、2000年に開設された「シブヤ経済新聞」に本部を置く「みんなの経済新聞グループ」に属し、2020年7月現在、同グループ下でニュースを配信する地域は国内外合わせ129エリアとなっています。



03 マルチチャンネルでコンテンツ提供

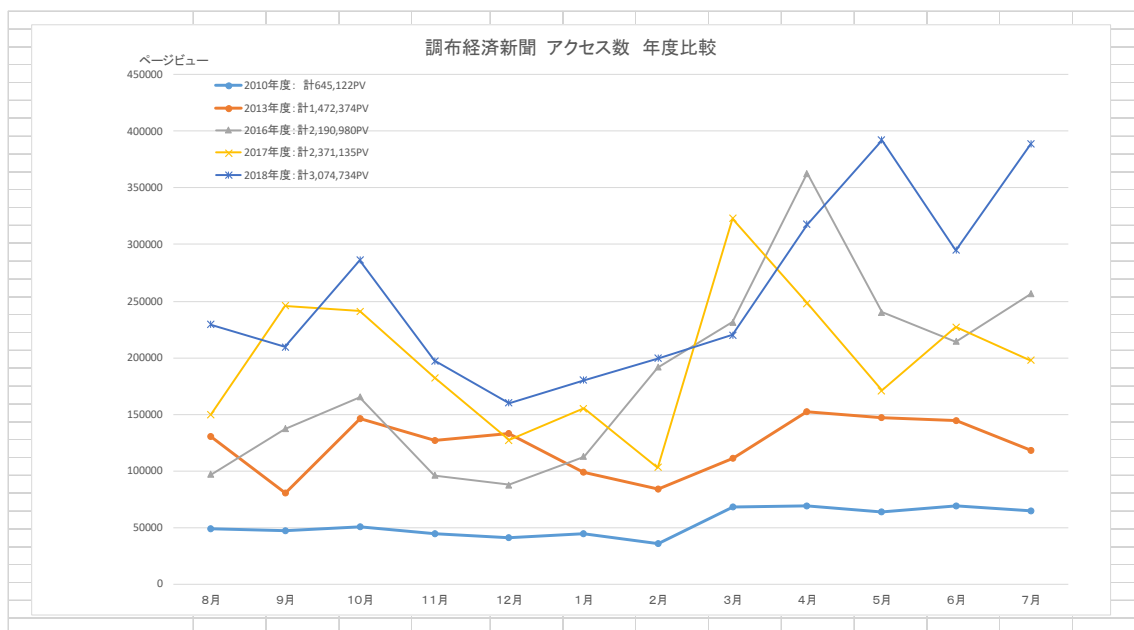
SNSによる記事拡散のほか、Yahoo!ニュースなど大手ニュース配信メディアへの記事提供、各エリアFM局やケーブルテレビとのコラボ番組などマルチチャンネルで地域情報コンテンツを提供・発信しています。



Copyright 2020 MINKEI LOCAL NEWS NETWORK All rights reserved.

■アクセス数 年度比較

2010年度: 計645,122PV
2013年度: 計1,472,374PV
2016年度: 計2,190,980PV
2017年度: 計2,371,135PV
2018年度: 計3,074,734PV
2019年度: 計4,016,301PV



■ソーシャルネットワークのフォロワー(登録者)数

※調布市のツイッターを除き、調布の地域情報全般を発信する媒体としては市内で最大のフォロワー数を獲得しています。

SNS 媒体名	2019 年 7 月→2020 年 7 月	参考指標 ※()は昨年 7 月時点
フェイスブック	6,608 → 6,927(+319)	1:調布経済新聞:6,927 2:調布パルコ 4,154(4,182)▼28 3:調布市観光協会:2,274(2,136)△138 4:トリエ:1,746(1,667)△79 5:調布市役所:1,708(1,283)△429 6:182ch:748(713)△35 7:文化振興財団:673(608)△65 ※立川経済新聞:2,325(2,022)△303 ※下北沢経済新聞:4,389(4,159)△230 ※シブヤ経済新聞:22,254(21,103) △1,151

ツイッター	7,359 → 7,952(+593) テイクアウト:167 ちょうふどっとこむ:1,106	1:調布市 17,611(12,570)△5,041 2:調布経済新聞:7,952 3:調布市観光協会:4,987(4,109)△878 4:文化振興財団:1,876(1,550)△326 5:調布パルコ:1,339(1,333)△6 6:182ch:889(734)△155 ※立川経済新聞:6,934(6,574)△360 ※下北沢経済新聞:8,345(8,159)△186 ※シブヤ経済新聞:15,793(15,071) △722
LINE@	2,456 → 2,696(+240)	1:調布パルコ:20,905(20,614)△291 2:トリエ:16,999(11,274,)△5,724 3:調布経済新聞:2,696 ※立川経済新聞:1,462(1,302)△160 ※町田経済新聞:2,352(2,123)△229 ※シブヤ経済新聞:3,785(3,515) △270
インスタグラム	テイクアウト:670 ちょうふどっとこむ:299	調布パルコ:1,192 トリエ京王調布:検索できず 調布市:1,008 調布市観光協会:なし 182ch:603

●事業環境と運営状況

近年のアクセス数の伸びは、Google の検索アルゴリズムの変更によるところが大きいと思われませんが、2 年前に大幅採用した新規取材スタッフによるネタの質の向上、「みん経グループ」のルールや考え方に則りながらも「ページビュー」の増加に重きをおいて、開設当初から運営を続けてきた結果と考えています。2019 年 9 月には 479,644 とサイト開設以来、最高のアクセス数を獲得しました。年間の合計においても過去最高の数字となりました。また、市民からの取材ネタの提供も以前と比べ大幅に増加しています。

アクセス数が著しく伸びたことにより、認知度向上を目的としていた「紙面版」については現在、発行を見合わせています。

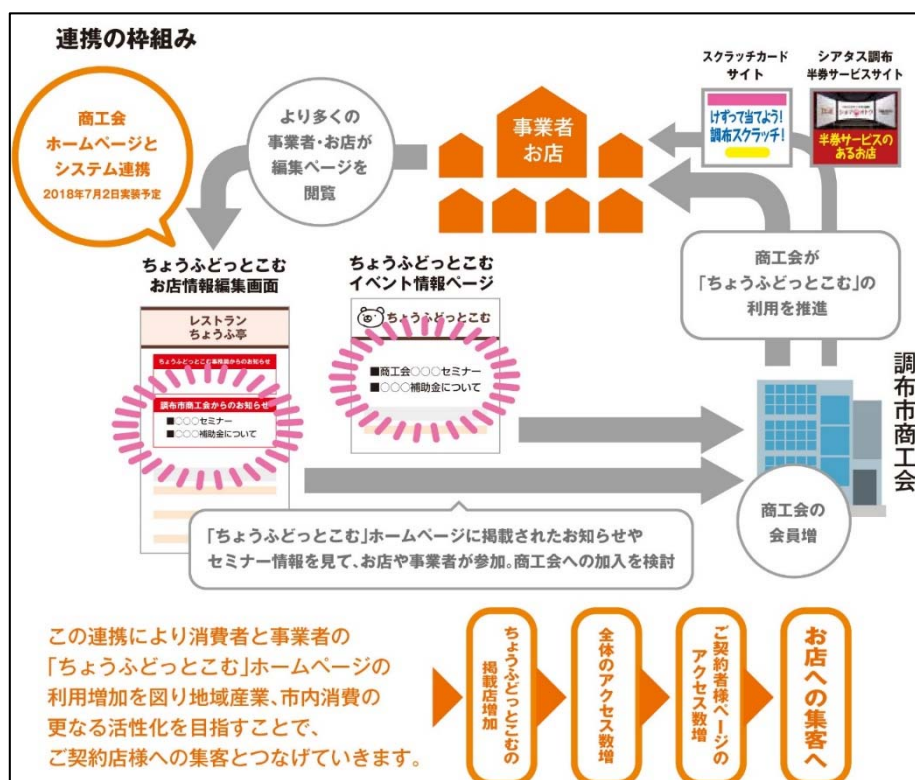
「調布経済新聞」事業は認知度が比較的高い地域情報発信媒体として、受託事業や自主事業に付加価値を提供する役割を担っていますが、事業単体ではまだ収支がマイナスのため、広告掲載などを含め、収支状況の改善が継続的な課題となっています。

3 その他、産業・民間関係セクター

■調布市商工会ホームページ

2018年1月に「ちょうふどっとこむ」と連携してリニューアル公開しました。

2018年6月には「商工会から事業者への情報発信」「事業者から消費者への情報発信の支援」を協力して行っていく業務連携に関する覚書を締結しました。同覚書には、調布市商工会が市内事業者に対し「ちょうふどっとこむ」への登録、活用を勧めることが記載されており、引き続き商工会と一体となって、事業者への支援を進めていきます。



調布市商工会と当団体(ちょうふどっとこむ)との連携の仕組み

■ちょうふ子育て応援サイト「コサイト」

2015年4月開設。同サイトを運営する「NPO法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット」と業務提携を結び、有料掲載店の請求管理も当法人で行っています。2019年8月には過去最高のアクセス数を獲得し、順調に成長しています。

サイトの改善や新規コンテンツの制作などにおいては当法人が全面的に協力しています。

一方、当法人が受託した、事業者への取材等が必要な事業においては、ライティングを得意とする、同団体の取材スタッフに協力いただくことで、相互連携を図っています。(今年度は「調布のお土産」の取材を依頼)



■「調布市観光協会」ホームページ イベントシステム

「調布市観光協会」は調布の観光PRを担う組織として幅広い活動を行っており、映画やテレビ、CM等の撮影場所をあっ旋する「フィルムコミッション」としての役割も担っています。

当法人では引き続きイベント情報部分の維持更新管理を担当、「ちょみっと」と連携し、同協会を所管する産業振興課以外から提供された情報でも観光に関連する情報があれば、同ホームページに掲載できる仕組みを設置しています。また、調布の花火の公式サイト(2020年度は中止)に加え、2015年11月に開設された「深大寺Free WiFi公式サイト」と2016年に開設された「調布Free WiFi公式サイト」の維持更新管理も行っています。



■「調布市勤労者互助会」ホームページ

主に市内の中小規模事業所の振興発展と従業員の福利厚生の充実を図ることを目的に設立された事業主と従業員のための互助組織です。

【主な提供情報】

- ・旅行やプレゼントなどの福利厚生サービスの案内と事業報告
- ・各種届出等の書式など



■「公益社団法人武蔵府中青色申告会」ホームページ

主に府中・調布・狛江市で事業を営む個人事業者を対象に、申告納税制度の推進と青色申告制度の普及に関する事業を行う団体です。

【主な提供情報】

- ・各種セミナー情報
- ・確定申告期の青色申告に関する情報

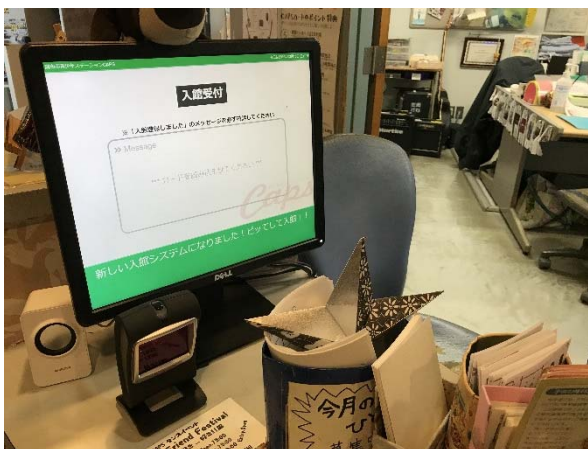
2018 年 11 月にサイトをリニューアルし、スマートフォン並びに SSL 対応を致しました。今期は同会が東京都感染拡大防止協力金の受付補助を行うことになったため、サイトのアクセス数が急激に増加しました。



■調布市青少年ステーション CAPS 入館管理システム

CAPS は「中学生、高校生のための児童館」として、調布市が NPO 法人ちょうふこどもネットに運営を委託している施設です。

2019 年 2 月に、手元の PC にインストールされたプログラムで動かしていた入館及び会員管理システムから、クラウド型のシステムに置き換えました。



■東京都立産業技術研究センター デジタルサイネージを活用した行動変容 実証実験

味の素スタジアムへの来訪者に調布市内をより回遊してもらうための実証実験として東京都が行う事業。プロジェクトの統括は府中に事務所を置く「セカンドファクトリー」様が務め、市内店舗やイベント、ニュースなどの情報提供を当法人が行う役割で、2018 年夏から隔週で企画会議を進めてきました。

1台は 2019 年 8 月に飛田給駅に設置、9 月には味の素スタジアムに設置されました。当法人ではお店情報やイベント情報などを提供し、6 月末時点でサイネージ上では 3,061 ページビューを獲得しました。

しかし、新型コロナによる自粛で味の素スタジアムの催事が中止となったほか、東京オリンピック・パラリンピックも延期となったこともあり、2020 年 9 月までの実証実験期間中に、その後の継続可否を判断するのに必要なデータが入手できないことが確実になったため、今後の運営に必要な費用も考慮し、9 月末で実験は終了、サイネージは撤去することになりました。



■その他、市民団体、民間事業者等の独自ホームページ

今年度は公益団体1件、民間事業者の新規ホームページ製作(4 件完了・公開済み)、リニューアル(1 件完了・1 件製作中)、民間事業者のシステム機能追加を行いました。

■「調布駅前商店街」と「調布駅前から盛り上げる会」

2017 年秋の「トリエ京王調布」の開業を機に、調布駅前の 5 商店街で構成する「調布駅前商店街」ならびに、同商店街に行政、商工会、財団、パルコ、トリエ、シアタス調布などを加えたオープンな意見交換、情報共有の場として「調布駅前から盛り上げる会」が設立されました。

この 2 つの組織が中心となり、以下の事業を実施し、当法人では企画立案や事務業務を担当しました。

*2019 年度に行った事業

- ・「府中、調布合同 飲食店 & お土産店マップ」の制作・発行
一社)まちづくり府中と協働制作
- ・駅前事業者のバリアフリー対応やテレビモニターの設置状況の調査。
- ・「東京都商店街新型コロナウイルス感染症緊急対策奨励金」制度の施行を受け、StayHome 期間(4 月 25 日～5 月 6 日)に、調布駅前商店街 5 商店街に調布百店街を加えた 6 商店街で、「臨時休業を会員事業者に依頼し、商店街への来訪を抑制する事業」を実施。同期間中の休業状況の調査、写真撮影、申請事務事業

(2)「地域情報収集・伝達媒体」の活用に関する調査、その他情報収集の事業

2019 年 6 月に、調布市基本計画(2019 年度から 2022 年度まで)の総合計画が発表され、頻発する災害に備えた安心・安全が優先事項として挙げられ、施策として検討されました。その中で、今までの地域情報化を前面に押し出した活動ではなく、市民に焦点を当てた施策を強化する活動として CLIC に何ができるのかを、地域情報化・地域活性化に関するイベントや研修に参加し、調査と情報収集を行いました。

2020 年に入ってから新型コロナウイルスの影響が出始め、研修の参加を控え、情報収集に努め、オンライン研修などに参加する中で、政府は住民記録や税・社会保険などを管理する自治体のシステムについて、標準仕様への統一を義務付ける新法を制定する検討に入りました。これまで各自治体が独自仕様のシステムを構築したことによるデータ連携の遅れが、新型コロナウイルス対応での遅れなどを招いたとして、行政のデジタル化を急ぎ、2021 年の通常国会への提出を目指しています。

これまで調布市を含め各都道府県・市町村は独自にシステムを構築し、IT ベンダーに発注していますが、システムの仕様が異なり、同じベンダーのシステムでも、自治体ごとに仕様が異なっていることやシステムのばらつきがデータ処理の自動化や自治体間のデータのやりとりを難しくし、行政サービスの遅れにつながっていることが問題になっています。

新法では標準仕様書に沿った情報システムの構築を都道府県や市町村に義務付け、住民記録や地方税、介護保険など 17 の業務を対象にする案が軸になり、総務省を中心に詳細を今後詰めていく予定です。

標準化が進めば、システムの維持管理や改修にかかる自治体の費用負担も軽くなりますが、同時に当法人のように自治体から直接発注を受ける事業には向かい風となる恐れがあります。

CLIC が設立された当時の、政府 IT 基本戦略で「5 年以内に世界最先端の IT 国家となることを目指す」との宣言から約 20 年。新法制定を機に地域情報化の流れも変わってくることが考えられます。(2020/8/3 付 日本経済新聞朝刊の記事参考。)

今年度の調査及び情報収集のために参加した主な事業・講座、視察は以下の通りです。

月日	事業・講座名・視察先	備考(主催)
2019 年 8/4-6	石巻市役所打合せ 「地域コミュニティサイト説明」	NPO 法人ちょうふ子どもネット
9/30-	岡山県勝央町「しょうおう志援協	NPO 法人ちょうふ子どもネット

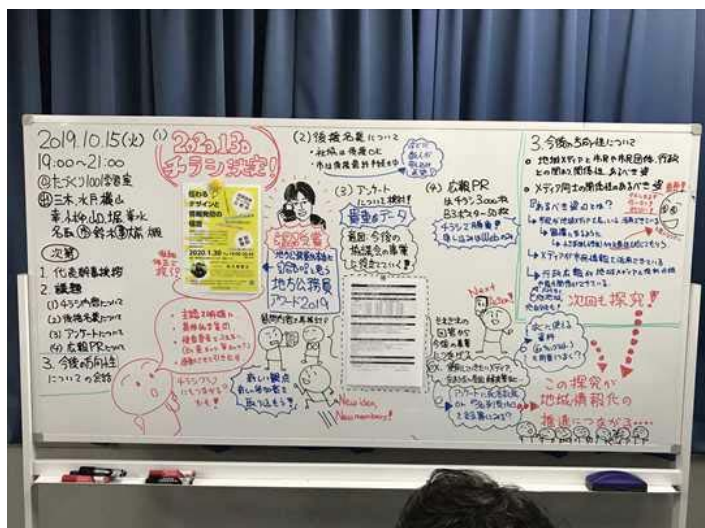
10/01	会」	
10/05	地域課題解決チャレンジサミット https://www.kanmin-renkei.jp/colorful/191005/	株式会社パソナ 官民連携まちづくり推進協議会
11/14	「市役所をハックする」特別企画	市役所をハックする http://shiyakusyohack.mystrikingly.com/
12/17	官民連携サロン	株式会社 Publink https://publink.biz/
2020 年 1/14	東京都観光案内拠点 第2回制度説明会	東京都観光局
2/6	【第 56 回定例会&懇親会】 NGO と企業の連携推進ネットワー ク	NGO と企業の連携推進ネットワーク
3/21- 24	オーセンティック・リーダー塾	コミュニケーショントレーニングネットワー ク
4/10	「私たちはオンラインとどう関わ っていくのか？」	日本ファシリテーション協会
5/21	ミライ+コロナ ワークショップ	Issue+design
6/11	2020世界平和経済人会議 ひろ しま 東京セッション	2020世界平和経済人会議ひろしま東京 セッション運営委員会 https://hiroshimaforpeace.com/2020wpwf-tokyo/
7/03	みんなの SDGs 主催「SDGs と 新型コロナ」ウェブセミナー第 1 回	みんなの SDGs
通年	他地域での情報交換、打ち合わ せ、事業への参加	岩手県盛岡市、宮城県石巻市、松島町、東 松島市、福島県福島市、須賀川市、郡山市、 東京都杉並区、三鷹市、府中市、福生市、大 阪府大阪市、岡山県勝央町、福岡県福岡 市、糸島市、飯塚市、沖縄県沖縄市、浦添 市、恩納村、嘉手納町

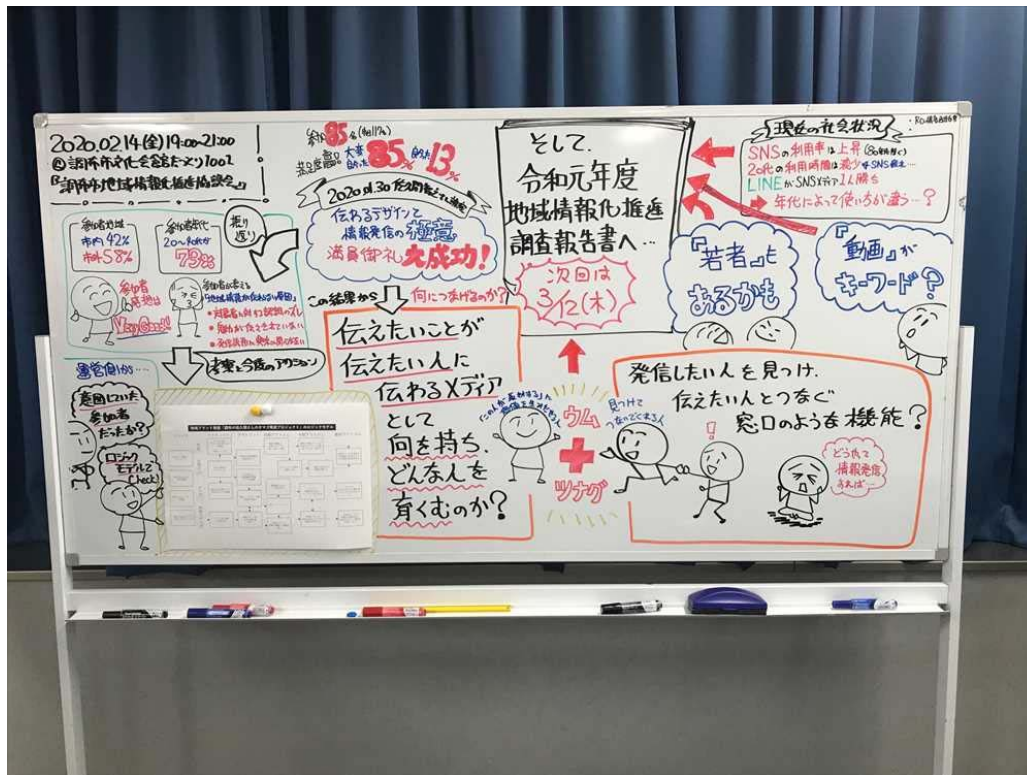
(3)「地域情報収集・伝達媒体」を基盤とした地域情報化促進事業

調布地域情報化推進協議会について

2017 年に、地域情報化に関する市民アンケート企画について、地域情報化推進調査研究報告書にまとめ、翌年 3 月に調布市に提出。その企画内容に沿って、2018 年 8 月にインターネットアンケートを実施しました。約 160 人から回答をいただき、その結果をまとめ考察したものを 2018 年度の報告書として 2019 年 3 月に調布市に提出。

今期はアンケートに回答いただいた市民を交え、地域情報化に関する協議テーマのアイデア出しから開始したところ、地域情報化のゴールが「コミュニティの活性化」であることに帰結、特に「市民団体」に注力することになりました。そこで市民団体がもっとうまく情報発信できるようになることを目指し、佐久間智之氏を調布にお招きし広報の講演会を開催しました。参加者からのアンケート結果をまとめたものも含め、3 月に報告書を調布市に提出しました。





伝わる デザインと 情報発信の 極意

情報発信力をつけるためにはどうしたら良いの
だろう？集客できるチラシを作りたい！そんな悩み
ありませんか？自治体広報日本一に導いたノンデ
ザイナーの職員が、デザインとは何か、ワンラン
ク上のチラシの作り方などをギュッと詰め込んだ
講座を開催します。

2020.1.30 Thu 19:00-20:45
場所 調布市文化会館たづくり8F 映像シアター
受付18:30

期玉東三方可 広報担当&メディアユニバーサルデザインアドバイザー
GUEST 佐久間 智之

2002年埼玉東三方可入庁。独学で印刷以外全て一人で広報紙「広報みよし」
を作り、全国広報コンクールで日本一の内閣総理大臣賞受賞。予算ゼロ内でプ
ロモーションも担当し、ハロプロとのコラボを仕掛け、Yahoo!トップニュース
になると、パブリシティ効果の評価も高い。講演多数。著書に「広報員の成功
ライフハック」「バツと伝わる公務員のデザイン術」「公務員のデザイン大全」。

市民団体
サークル
公務員

情報発信の方法に悩んでいる
もっとチラシを良くしたい
組織や団体の広報担当など

**参加
無料**

事前予約制 定員 先着80名

申込方法 11月29日※からホームページで申込受付開始。QRコードで簡単申込。

問い合わせ 調布市地域情報化推進協議会 事務局 (NPO法人CLIC・クリニック内) ☎ 042-487-4282

主催：調布市地域情報化推進協議会
後援：調布市・社協 調布市社会福祉協議会

地域情報化推進協議会で、令和元年度情報通信白書(2019 年 7 月)をもとにまとめた
「主なソーシャルメディア系サービスの年齢階層別活用可能性」

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	男性	女性
全体の傾向 休日利用時間 利用率	169.6分 58.2% 利用時間 は増、利用 者は減	100.8分 64.1% 利用時間、 利用者率と もに現	73分 52.5%	67.1分 41%	79.1分 25.6%	52.1分 11.7%		
LINE	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
ツイッター	○	◎	○	△	△	×	△	△
Facebook	×	○	○	△	△	×	△	△
インスタグラム	○	○	○	△	△	×	△	○
Youtube	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
TikTok	△	△	×	×	×	×	△	×
ポータルサイトによるニュース配信	○	○	◎	◎	◎	○	○	○
ソーシャルメディアによるニュース配信	○	○	○	○	△	×	△	○
利用率70%以上：◎、40%以上：○、20%以上：△、20%未満：×								

第3 法人の状況

1. 会費の状況

当法人は、市民の声を反映させて、事業を維持・拡大していくために会員制度を設けています。今年度の会費収入は145,000円となりました。会費の内訳は次の通りです。

種別	会員数(口数)	総額
正会員(1口 5,000円)	17人(17口)	85,000円
非営利法人賛助会員(1口 10,000円)	2団体(3口)	30,000円
営利法人賛助会員(1口 30,000円)	1法人(1口)	30,000円

2. コンプライアンス及びアカウンタビリティ

当法人は、「効率的な運営によって法人価値の最大化を図るため、組織体制や仕組み、制度などを整備し、必要な施策を適宜実施していくこと、また活動の成果を市民、会員、取引先、業務委託先従業員といったステークホルダーと享受していくこと」を重要な課題としています。

今年度も健全な運営体制の実現のために、最高意思決定機関である総会、ミッション達成のための経営判断と人材育成を行う理事会、事業を円滑に遂行する事務局、業務と会計の両分野での監査を行う監事が分担して取り組みました。

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う職員の勤務状況について

当法人は、新型コロナウイルスの職員への感染を防止するため、2月末から時差出勤、学校の休校が始まった3月2日からテレワークを開始しました。東京都しごと財団の「事業継続緊急対策(テレワーク)助成金」を活用し、全職員にテレワーク用のノートパソコンを支給しました。

4. 他団体への加盟状況

当法人は社会に資するNPO法人の1団体として、他の団体と積極的に交流し、事業協力を行うことで活動成果の最大化を図っています。

2019年度は次の法人に加盟又は協力を行いました。

団体名	目的
NPO 法人調布市民放送局	・法人賛助会員 調布市地域情報化基本計画を基にする団体として、 地域情報化推進のための情報交換
NPO 法人ちょうふこどもネット	・法人会員 利用者目線での情報提供に関する協力と、若年者の当 法人事業への就労協力
NPO 法人ちょうふ子育てネット ワーク・ちょこネット	・理事、法人賛助会員 業務提携、事業協力、当法人が対象とする業界に関する 情報収集
関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会	・正会員 地域情報化に関する事業での協力と情報交換
調布市商工会	・理事、商業部会副部長、正会員 市内商工業に関する情報収集と事業協力、業務受託
調布市観光協会	・常任理事、正会員 調布市の観光施策に関する情報収集や事業協力、当協 会会員との人的交流、業務受託
CIC88	・正会員 市内商工業に関する情報交換及び異業種交流
一社)武蔵府中法人会	・常任理事、税制研修委員長、正会員 税務に関する情報収集やセミナーへの出席、人的交流
公社)武蔵府中青色申告会	・組織委員会副委員長、正会員 税務に関する情報収集やセミナーへの出席、人的交流、 業務受託
上布田商栄会	・役員、正会員 当法人会員との人的交流、当該エリアの情報収集、業務 受託
小島商栄会	・役員、正会員 当法人会員との人的交流、当該エリアの情報収集
仙川商店街協同組合	・賛助会員 当組合会員との人的交流、当該エリアの情報収集、業務 受託
調布市地域経済対策会議	・委員 駅前商店街役員会での意見や地域事業者の状況のフィ ードバック並びにコロナ禍におけるネット活用などにつ いての提案

第4 2019年度 理事会等開催報告

月日	活動項目	主な議題
9/27	第1回 理事会	・正副代表理事の選任について
10/29	第2回 理事会	・9月度業務報告、8月度収支報告 ・スタッフの研修について
11/19	第3回 理事会	・10月度業務報告、9月度収支報告 ・調布地域情報化推進協議会の進捗状況について
12/19	第4回 理事会	・11月度業務報告 ・調布地域情報化推進協議会の進捗状況について ・シアタス調布-半券サービスについて ・ウェブサイト制作状況について ・駅前商店街 活動状況について ・飛田給デジタルサイネージについて
1/20 (2020 年)	第5回 理事会	・12月度業務報告、10月度収支報告 ・調布地域情報化推進協議会の進捗状況について
2/17	第6回 理事会	・1月度業務報告、11月度収支報告
3/19	第7回 理事会	・2月度業務報告、12月度収支報告 ・新型コロナウイルス拡散防止に伴うスタッフ勤務状況について ・公益事業の来期契約状況と今後の対応について
4/20	第8回 理事会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため理事会は書面決議。 ・3月度業務報告、1、2、3月度収支報告 ・調布市テイクアウト事業について

5/18	第 9 回 理事会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため理事会はオンライン開催 ・4 月度業務報告
6/24	第 10 回 理事会	・5 月度業務報告、4 月度収支報告 ・プレミアム商品券事業について
7/21	第 11 回 理事会	・6 月度業務報告、5、6 月度収支報告 ・個人面談結果について ・2020 年度事業計画と予算案について ・総会日程について ・ちょみっと改善会議の状況について
8/28	第 12 回 理事会	・7 月度業務報告、7 月度収支報告について ・2019 年度事業報告について ・2020 年度事業計画と予算案について
9/7	第 13 回 理事会	・8 月度業務報告 ・2019 年度事業報告、決算報告 ・総会について